

タグレフリー講習会資料

●事前のお願い 【競技規則を事前に良く読んでおいて下さい】

※タグラグビーとは・・・ (ミニラグビーとは全く逆です)

- ・接触(コンテスト)をしてはいけない (相手をかかわす、逃げる)
- ・現象に対して直ぐ判定 (野球のアウト、セーフみたいなもの・・・)
- ・ラグビーの「継続させる」概念(影響が無ければ流す等・・・)が無い

●レフリングのポイント

- 1) フリーパス (ゲームを再開する時は全てフリーパス)
 - ・立ち位置 パスを出すプレイヤーの横が基本
 - ・パスを受けるプレイヤーの位置の確認 (真横か 2m 以内)
 - ・防御側が 5m 下がっているのを確認し、「プレイ」と声を掛けてスタート (前、後半のスタートの時は笛を吹きます)
 - ・兵庫県 U8 ルールでは、「ボールをキャッチ(触れる)」でオフサイド解消
- 2) タグが発生した場合
 - ・「タグ 1」、「タグ 2」・・・とコール、回数をカウントする (通常 4 回で交替)
 - ・直ちにパスをしたかどうか確認(目安 3 歩以内)→反則(オーバーステップ)
 - ・兵庫県 U8 ルールでは、「戻ってパスする事を許容します
 - ・オフサイドの確認 (パスしたボールよりも前でプレーするプレイヤー)
 - ・取ったタグを、相手に手渡しで返しているかどうかの確認 (投げる等 NG)
※接触を避ける為、「よけて」「かわして」等の声掛けをして下さい。
- 3) 試合終了
主催者側が定める時間で終了(試合途中でも終了する、つまりサッカー方式)
- 4) ゴールライン付近、インゴールでの確認
※トライが認められない場合
 - ・ゴールライン手前、またはインゴールでタグを取られる
 - ・両足がインゴールに入っていない (片足のみ) → 5m でフリーパス
 - ・インゴールに飛び込む行為 → ペナルティー (危険行為)
 - ・反則が無ければ、トライと認められた場合
※ペナルティートライ(認定トライ)もあります。

5) 反則について

a) タグへの妨害行為

- ① タグを取る手を払う (ハンドオフのようなもの)
- ② ボールでタグを取られるのを防ぐ
- ③ タグを手で押さえる
- ④ ジャンプする
- ⑤ 一回転以上する

b) 接触するプレー

- ・ 攻撃側の接触 (オフenseチャージ)
 防御側に向かって走る(直線的も含む)、狭い間を抜ける
- ・ 防御側の接触 (ディフェンスチャージ)
 進路を邪魔する、体を当てる、飛び込んでタグを取る
- 接触の原因によって、どちらかにペナルティーを課す
 ※接触の原因は、どちらかというとおフェンス側に多い

c) その他

- ・ ノックオン (兵庫県 U8 ルール⇒プレーオン、ただし、接触が予想され危険と見なした場合はノックオンとする)
- ・ スローフォワード

6) アドバンテージ (プレーを継続させる)

- ・ ノックオン 相手側に攻撃権が移り、「地域的な前進」が得られれば解消
- ・ オフサイド 「地域的な前進」が得られなければノーアドバンテージ

7) その他

- ・ 地上にあるボール(例えばノックオン等で)を拾おうとして地面に倒れたまたはスリップダウンした場合、ゲームを止めてフリーパスから再開して下さい (安全対策)

8) タッチジャッジの役割

- ・ フリーパス時、フラッグを上に掲げて DF が 5m 下がっているか確認。
 確認が出来たらフラッグを下げる。
 (レフリーは下がったのを確認し「プレイ」のコールをする。)
- ・ タッチの確認、レフリーの補佐等

以上